

令和 6年度 (5年度決算分) 高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	産業振興課
	施策	就業環境の充実	電話番号	087-839-2411	
	基本事業	勤労者福祉の充実	事業実施主体	市	
	事務事業	中小企業勤労者支援事業	事業期間	平成 28年度 ~ 令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	勤労者の持ち家の促進を図るため、四国労働金庫との協調融資により、住宅資金を貸し付けている。融資限度額は600万円、優遇措置として、融資額の0.1% (最高6千円) を1回還付する(四国労働金庫が費用負担)。				
6年度概要	勤労者の持ち家の促進を図るため、四国労働金庫との協調融資による住宅資金の貸付け融資額の0.1% (最高6千円) の還付 貸付金：180,000千円				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の種類	ソフト事業 (法律による実施義務無)

【事業の目的】

対象(何を)	市内に自ら居住するための住宅を新築、増改築又は購入する勤労者
意図(どのような状態にしたいか)	勤労者に住宅資金の貸付け及び利子還付を行い、勤労者の持家の促進を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
融資額	円	1,088,780,000	893,670,000	779,160,000	720,000,000	720,000,000

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
				目標値				
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
	(目標達成度)							
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
	(目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(決算)	令和 6年度(予算)
トータルコスト	[千円]	181,208	181,197	182,258	182,258
(事業費)	[千円]	180,000	180,000	180,000	180,000
(職員人件費)	[千円]	1,208	1,197	2,258	2,258

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

例年どおり、昨年度も目標を上回る利用率を維持している。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

利用者も多いことから、継続が妥当である。今後利用が低調になり、融資残高が減少傾向となった場合には、貸付金額の見直しを行う余地はある。

令和 6年度（5年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	評価担当	局名	創造都市推進局
	政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化		課(室)名	産業振興課
	施策	就業環境の充実	電話番号	087-839-2411	
	基本事業	勤労者福祉の充実	事業実施主体	市	
	事務事業	中小企業勤労者福祉共済事業	事業期間	平成28年度～令和5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	市内の中小企業に働く勤労者の福祉の増進を図り、併せて中小企業の振興に寄与することを目的とする。 ・福利事業に旅行、文化・教養講座、各種講演チケット割引斡旋、スポーツ・レジャー施設、人間ドック、市内の映画館等を割引料金で利用 ・給付事業として結婚、出産、入学、傷病見舞、退職せん別等10種類の給付金を支給 ・福利事業の実施は、穴吹エンタープライズ(株)に委託している。					
6年度概要	給付事業	42,090千円	福利事業	35,788千円	事務費等	28,881千円
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）			

【事業の目的】

対象(何を)	市内の従業者300人以下の中小企業に勤める勤労者等
意図(どのような状態にしたいか)	中小企業勤労者の余暇の充実や、給付金事業による経済的な支援を通じて、働きやすい環境づくりや勤労意欲の醸成を図る。 福利厚生を充実させることで、人材確保を側面から支援し、市内の中小企業の振興を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
加入事業所数	社	660	644	627	620	675

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
加入被共済者数	人	目標値	8,330	8,330	8,330	7,800	8,330
		実績値	8,234	8,184	7,804		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度) 93.7% 32点
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R3	R4	R5	R6	中期目標 R5
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和3年度(決算)	令和4年度(決算)	令和5年度(決算)	令和6年度(予算)
トータルコスト	[千円]	114,326	108,263	112,990	109,017
(事業費)	[千円]	106,776	100,779	110,732	106,759
(職員人件費)	[千円]	7,550	7,484	2,258	2,258

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

事業所数627か所(前年度比17)被共済者数7,804人(前年度比380)
事業所等への積極的な訪問勧誘、商工会議所の広報誌への掲載、来庁した金融機関担当者への案内等、多角的に周知活動を実施。結果、例年と同水準の事業所が加入。一方、事業所の統合や高齢化による廃業を理由とした退会が多く、事業所数、被共済者数ともに前年度比マイナス着地。今後も、被共済者の増加(掛金収入の確保)を図り、特別会計の財務状況を注視しながら事業を実施していく必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

地方自治法施行令の規定により事業全てを民間委託することはできないことから、今後も、市と受託業者との連携の下、勤労者福祉の充実、中小企業における就業環境の向上による人材確保支援のため、加入事業所、被共済者の増加にも取り組みながら、条例に基づき、事業を継続する必要がある。なお、事務局は高松テルサ閉館後の施設内に引き続き設置し、福利事業の受託業者は公募型プロポーザル方式にて選定済である。